

## ヘルスプロフェッショナル教育過程における DOHaD 説の理解度と DOHaD 説に関連した教育内容の分析

小山田正人<sup>1</sup>、Sarah Morgan<sup>2,3</sup>、Robyn Dixon<sup>4</sup>、Clare Wall<sup>4</sup>、Jacquie Bay<sup>2,3</sup>

<sup>1</sup> 藤女子大学人間生活学研究科食物栄養学専攻, <sup>2</sup>Liggins Institute, University of Auckland, New Zealand; <sup>3</sup>Gravida: National Centre for Growth and Development, New Zealand; <sup>4</sup>University of Auckland, New Zealand

### 【背景・目的】

DOHaD 説を支持するエビデンスが蓄積し、NCD 予防のアクションが求められている。われわれは、DOHaD 説に関する理解度の国際比較が重要と考え、質問票を作成した (<http://urx.nu/dQJ0>)。

今回ヘルスプロフェッショナルの教育過程での、DOHaD 説の理解度と DOHaD 説に関係した教育内容を明らかにする目的で、管理栄養士課程の大学生を対象に調査を行った。

### 【対象・方法】

対象は、管理栄養士課程の女子大学生で、1 年生から 4 年生の 4 学年、それぞれ約 80 名。学年開始の 4 月中に、上記の DOHaD 説の理解度に関する質問票を用いた。管理栄養士課程における DOHaD 説に関係した教育内容に関して、国家試験出題基準、シラバスの詳細な解析、教員への聞き取りを行う予定である。

### 【結果】

管理栄養士課程 1 年生 (69 名) と 4 年生 (76 名) を比較すると、(1) 「DOHaD ということばを聞いたことがありますか？」との質問に対して、「はい」と回答した学生は、1 年生では 0/69 (0%)、4 年生では 55/76 (72.4%) だった。(2) 「妊娠中の女性の栄養は、子供の成人期全体にわたる健康に影響を及ぼす。」と「2 歳までの栄養は、成人期全体にわたる健康に影響を及ぼす。」との質問に対して、「大いに賛成」が 1 年生では 6/69 (8.7%) と 11/69 (15.9%)、4 年生では 11/76 (14.5%) と 28/69 (36.8%)、「やや賛成」が 1 年生では 14/69 (20.3%) と 20/69 (29.0%)、4 年生では 30/76 (39.5%) と 25/69 (32.9%)、「わからない」が 1 年生では 36/69 (52.2%) と 30/69 (43.5%)、4 年生では 27/76 (35.5%) と 20/69 (26.3%)、「反対」が 1 年生では 11/69 (15.9%) と 7/69 (10.1%)、4 年生では 8/76 (10.5%) と 3/69 (3.9%)、「非常に反対」が 1 年生では 2/69 (2.9%) と 1/69 (1.4%)、4 年生では 0/76 (0%) と 0/69 (0%) だった。

### 【結論】

管理栄養士課程 4 年生では 1 年生と比較して、DOHaD 説に関する理解度が向上していたが、DOHaD ということばを聞いたことがあることと DOHaD 説の内容理解度の間で解離がみられたことより、DOHaD 説に関係した教育内容の更なる検討が重要であると考えられる。